



ジョホール日本人学校 Japanese School Johor



学校便り Respect

令和5年11月2日

No. 8

令和5(2023)年度 11月全校朝礼 校長 あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

早いもので11月をむかえました。ここ3年間、この11月は、JSJにとって特別な月でした。3年前は、コロナのため赴任が遅れた日本からの先生方が、7か月遅れでジョホール日本人学校に到着したのが11月3日のことでした。2年前は、7か月間のオンライン授業が終わり登校が再開したのが11月8日のことでした。昨年の11月26日には、ルックイースト政策40周年記念式典がこの体育館で開催されました。このルックイースト40周年記念式典の第2部を発展させる形で開催されたのが、先週の10月26日に開催した『日本文化の日』です。参加した、100名のマレーシアの先生方や児童生徒の皆さんは、とても喜んでくださりました。JSJの児童生徒や教職員の皆さんの努力で、大成功の行事とすることができました。

私が、この日本文化の日を通して感じたことを2つお話します。1つ目は、「日本国内では、なかなか身につけることのできない力を、身につけることができる行事である。」ということです。日本国内の学校では、日本を代表して外国の方々に日本文化を伝えるという機会は、ほとんどありません。また、日本では、自分のことを強く主張したりすることは、あまり良しとはされません。場合によっては、批判されてしまいます。しかし一歩海外に出れば、自分の意見を主張しなければ、考えのない人と思われてしまいます。これが、会社の取引などの場合は、とても不利になることもあります。今回の日本文化の日、皆さんは、自分たちの文化を、外国の人たちに分かってもらうために、様々な努力を積み重ねました。そこで身につけた発信する力は、皆さんが、これからの国際社会で生きていくうえで、とても大きな財産になったと確信します。

2つ目は、JSJで取り組んでいる、SDGsとの関連です。私は、前々から、SDGsで大切なのは、17番の『パートナーシップ』であるとお話してきました。これがなければ、いくら様々な活動に取り組んでも、成果をあげることは難しくなります。なぜなら、SDGsの目標は、世界が協力しなければ達成できないものばかりだからです。今回の日本文化の日、みなさんはマレーシアの人々へ日本文化を伝えるため、相手の立場にも立ちながら、事前の準備や当日の活動に取り組み、より良いパートナーシップを結ぶことができたことは、間違いありません。



残念なことに、今、世界では民族や宗教の違いで、様々な対立が起こり、多くの人が命や住む場所を失っています。様々な理由が折り重なった結果であり、簡単に解決することはむずかしいかもしれません。しかし、今回の日本文化の日のように、様々な民族が集まり、相手の文化や立場を尊重することができれば、世界は必ず良い方向に向かうのではないのでしょうか。もし、この体育館が世界だとするならば、皆さんは日本文化の日でこの場所で、世界平和を実現できていたのです。

このように、大切なことをたくさん学ぶことができた日本文化の日でした。今後もこの成果を、学校生活の様々な場面で活かしていきましょう。また、皆さんのこれからの長い人生の土台としていきましょう。

SDGs 節電プロジェクト	2022年9月使用電力	2023年9月使用電力	今月の節電量	累計節電量
10月の結果	12086kwh	14951kwh	-2865kwh	-6744kwh

◎ 保護者の皆様へ

- 1 10月26日に開催されました、『日本文化の日』は多くの保護者の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。学校だよりの本文でも述べさせていただきましたように、お子様方にとりまして、学びの多い行事となった確信いたします。
- 2 11月も、百人一首大会、授業参観、お話の会等でご来校いただく機会がございます。よろしくお願いいたします。

◎ 学校生活の様子（特集:日本文化の日 2023.10.26）



開会式



和太鼓演奏



日本文化紹介（小1・2年）



日本文化紹介（小3・4年）



日本文化紹介（小5・6年）



日本文化紹介（中学部）



閉会式



お見送り